

1 基本的構成態様

原告主張	被告主張	裁判所の認定
本件意匠の基本的構成態様は、次の部分より構成されている。	本件意匠の基本的構成態様は、次の部分から構成されている。	本件意匠の基本的構成態様は、次の部分から構成されている。
ア 植木鉢の背面の中央付近に形成され、ペットボトルを挿入する円形の「ペットボトル挿入部」	ア 植木鉢の背面の中央上方に形成された給水ボトル挿入用の円形孔部	ア 植木鉢の背面の中央上方に形成された給水ボトル挿入用の円形孔部
イ 植木鉢の内側に侵入する態様で形成された「内側侵入部」	イ 植木鉢の背面の中央上方であって、円形孔部が形成された枠体部	イ 植木鉢の背面の中央上方に、一部が内側に侵入する状態の円形孔部が形成された枠体部
ウ 植木鉢の外側へ突出する態様で形成された「外側突出部」		
	ウ 枠体部の背面視奥側から垂下された土入れ部背面部	ウ 枠体部の植木鉢背面側から垂下された土入れ部背面部

2 具体的構成態様

エ ペットボトル挿入部は、平面視で円形をし、植木鉢の背面の両角を結んだ直線上の中心に位置しており、円形部分の植木鉢の内側への侵入範囲と外側への突出範囲とが概ね同等程度となっている。	エ 円形孔部は、背面視手前側における円周の略2/3の円弧の外側孔部の高さが円形孔部直径の略1/6で、背面視奥側における円周の略1/3の円弧の内側孔部の高さが円形孔部直径の略2/15であり、背面視手前側と背面視奥側との円形孔部の下端が面一で、背面視奥側の内側孔部の上端が背面視手前側の外側孔部の上端より、円形孔部直径の略1/30低い段差状に形成されている。	エ 給水ボトル挿入用の円形孔部は、平面視で円形をし、当該円形孔部の円弧のうち、植木鉢本体の背面の上部に形成され、植木鉢背部の内側に侵入した部分（内側孔部）と、その外側に突出して形成された部分（外側孔部）とが1：2程度となっている。また、それぞれの上部は、内側孔部より外側孔部の方が若干高い段差状に形成されている。
--	---	--

	オ 枠体部は、背面視手前側における円周の略2/3の円弧の外側孔部の外方に形成された外側枠体部と、背面視奥側における円周の略1/3の円弧の内側孔部の外方に形成された内側枠体部とから構成されている。	オ 枠体部は、内側孔部の外方に形成された部分（内側枠体部）と、外側孔部の外方に形成された部分（外側枠体部）とで構成されている。
オ 内側侵入部は、ペットボトル挿入部の外周に沿う形で形成された部分と、土入れ部背面の上縁を折り返した部分とからなる。	カ 外側枠体部は、外側孔部の外周を形成し、平面視において全長にわたり左右外側に膨出する曲線からなる円弧状で、破線で示された枠体に一体化されており、外側枠体部の上縁から丸みをつけて垂下したスカート部の下縁が上方に突出した円弧状をなしており、スカート部の中央高さが左右端の高さの1/2に形成されている。	カ 内側枠体部の上部は、内側孔部に沿って土入れ部背面の上縁を折り返して形成されており、外側枠体部の上部は、内縁が外側孔部を形成し、外縁が緩やかな円弧状のカーブを描いて植木鉢の外側に突出する形状で形成され、その下端は、上方に凸の緩やかな円弧状となっており、枠体部の上部は、外側枠体部の方が内側枠体部より若干高い段差となっており、平面視で外側枠体部の方が内側枠体部より厚みがある。
カ 外側突出部は、植木鉢の外側に向かって、内縁がペットボトル挿入部の円形の外周を形成し、かつ、外縁が緩やかなカーブを描いて植木鉢の外側に突出する形状で形成されている。	キ 内側枠体部は、上縁が折り返されて、内側孔部の外周を形成しており、背面視奥側を画する内側孔部と同心の円弧状部を形成しており、平面視において、内側枠体部の厚みが、外側枠体部における左右方向中央部の厚みの略2/3に形成されている。	
	ク 内側枠体部の上面が外側枠体部の上面より円形孔部直径の略1/3低い段差状に形成されている。	
	ケ 土入れ部背面部は、内側枠体部の上縁が折り返された奥側から内側孔部と同心で水平断面が湾曲した湾曲板が若干末広状に垂下して形成されている。	キ 土入れ部背面部は、内側枠体部の上縁が折り返された背面視奥側から円形孔部と同心の円弧状に湾曲した湾曲板が若干末広状に垂下して形成されている。

1 基本的構成態様

原告主張	被告主張	裁判所の認定
被告意匠の基本的構成態様は、次の部分より構成されている。	被告意匠の基本的構成態様は、次の部分から構成されている。	被告意匠の基本的構成態様は、次の部分から構成されている。
ア 植木鉢の背面の中央付近に形成され、ペットボトルを挿入する円形の「ペットボトル挿入部分」	ア 植木鉢の背面の中央上方に形成された給水ボトル挿入用の円形孔部	ア 植木鉢の背面の中央上方に形成された給水ボトル挿入用の円形孔部
イ 植木鉢の内側に侵入する態様で形成された「内側侵入部分」	イ 植木鉢の背面の中央上方であって、円形孔部が形成された枠体部	イ 植木鉢の背面の中央上方に、一部が内側に侵入する状態の円形孔部が形成された枠体部
ウ 植木鉢の外側へ突出する態様で形成された「外側突出部分」	ウ 枠体部の背面視奥側から垂下された土入れ部背面部	ウ 枠体部の植木鉢背面側から垂下された土入れ部背面部

2 具体的構成態様

エ ペットボトル挿入部分は、平面視で円形をし、植木鉢の背面の両角を結んだ直線上の中心に位置し、円形部分の植木鉢の内側への侵入範囲と外側への突出範囲とが概ね同等程度となっている。	エ 円形孔部は、背面視手前側における円周（約236mm）の略2/5の円弧（約100mm）の外側孔部の高さ（約20mm）が円形孔部直径（約75mm）の略4/15で、背面視奥側における円周（約236mm）の略2/5の円弧（約100mm）の内側孔部の高さ（約32mm）が円形孔部直径（約75mm）の略2/5であり、外側孔部と内側孔部との間の左右中央における円周（約236mm）の略1/6の一对の円弧（約36mm）の中央孔部の高さ（約31mm～約20mm）が円形孔部直径（約75mm）の略4/15～略2/5であり、背面視手前側の外側孔部と背面視奥側の内側孔部と両孔部との間の中央孔部の下端が面一で、背面視奥側の内側孔部の上端が背面視手前側の外側孔部の上端より円形孔部直径（約75mm）の略1/6（約12mm）高く、中央孔部の上端が内側孔部の上端よりも約1mm低い段差部分と段差部分から外側孔部の上端に半径約10mmの外側に膨出する丸み部で形成されている。	エ 給水ボトル挿入用の円形孔部は、平面視で円形をし、当該円形孔部の円弧のうち、植木鉢本体の背面上部に形成され、植木鉢背部の内側に侵入した部分（内側孔部）と、外側に突出して形成された部分（外側孔部）とがいずれも全円弧の5分の2程度であり、その間に中間部分（中間孔部）がある。また、それぞれの上部は、内側孔部が、僅かな垂直の段差を挟み、なだらかに外側に凸状の円弧状となっている中央孔部によって、一段低い外側孔部に連結されるように形成されている。
--	---	--

	<p>オ 枠体部は、背面視手前側における円周の略2/5の円弧の外側孔部の外方に形成された外側枠体部と、背面視奥側における円周の略2/5の円弧の内側孔部の外方に形成された内側枠体部と、両枠体部を連結する円周の略1/6の一对の円弧の中央孔部の外方に形成された中央枠体部から構成されている。</p>	<p>オ 枠体部は、内側孔部の外方に形成された部分（内側枠体部）と、外側孔部の外方に形成された部分（外側枠体部）と、両者を連結する部分（中央枠体部）とで構成されている。</p>
<p>オ 内側侵入部分は、ペットボトル挿入部分の外周に沿う形で形成された部分と、土入れ部背面の上縁を折り返した部分とからなる。</p> <p>カ 外側突出部分は、植木鉢の外側に向かって、内縁がペットボトル挿入部分の円形の外周を形成し、かつ、外縁が緩やかなカーブを描いて植木鉢の外側に突出する形状で形成されている。</p>	<p>カ 外側枠体部は、外側孔部の外周を形成し、平面視において左右端側が全長の1/3にわたり左右外側に膨出する略直線からなり、中央側が円弧状で、破線で示された枠体の背面視外側部に一体化されており、外側枠体部の上縁から丸みをつけて垂下したスカート部の下縁が水平状をなしている。</p>	<p>カ 内側枠体部の上部は、内側孔部を取り囲むように、土入れ部背面を幅広に折り返して、平面視で略台形に形成されており、外側枠体部の上部は、外側孔部の外周円弧を取り囲むように、平面視において、植木鉢背面部から外に張り出すようになだらかな山状の形を形成しており、枠体部の上部は、外側枠体部の方が内側枠体部より一段低くなっており、内側枠体部は、僅かな垂直の段差を挟み、なだらかに外側に凸の円弧状に形成された中央枠体部により外側枠体部を連結するよう形成されている。外側枠体部の下端は水平となっている。</p>
	<p>キ1 内側枠体部は、上縁が折り返されて、内側孔部の外周を形成しており、平面視において、内側枠体部の中央部内側が左右6.1mmに亘り直線状部で、直線状部の左右端部が直線状部に対して130度の角度の斜め直線部と、背面視外側を画する内側孔部の上端から左右内側端に大きな円弧で湾曲する湾曲線部とが、破線で示された枠体の背面視内側部に一体化され、内側枠体の中央上面に直径が約8mmの穴が形成されている。</p>	

	<p>キ2 中央枠体部は、中央孔部の外周を形成しており、内側枠体部における湾曲線部から約1mm低い奥行きが約8mmの段差状の平坦部と平坦部の端部から半径が約10mmの丸み部で外側枠体部に連結されており、中央枠体部の左右端部が破線で示された枠体の背面視中央部に一体化されている。</p>	
	<p>キ3 内側枠体部における左右方向中央部の厚みは、約15mmであり、外側枠体部における左右方向中央部の厚み約10mmの1.5倍である。</p>	
	<p>ク 内側枠体部の上面が外側枠体部の上面より円形孔部直径(約75mm)の略1/6(約12mm)高く、中央枠体部の上面が内側枠体部の上面よりも約1mm低い段差部分と段差部分から外側枠体部の上面に及ぶ半径約10mmの外側に膨出する凸面部で形成されている。</p>	
	<p>ケ 土入れ部背面部は、内側枠体部の上縁が折り返された直線状部から平面状に垂下した平板が形成され、平板の下端部に4本の縦方向のスリットが形成されている。</p>	<p>キ 土入れ部背面部は、内側枠体部において折り返された背面視奥側の直線状部から平面状に垂下した平板が形成され、平板の下端部に4本の縦方向のスリットが形成されている。</p>